

INDINI 4

インテリアスリム収納
[インディニ4]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

製品図面・パーツセット明細	1~2
各部名称	2
製品全体寸法・躯体準備	3
施工手順	4~10

製品図面・パーツセット明細

寸法単位: mm

以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

ボックス

[上面図]

[正面図] [側面図]

部品	ビスL=51	ビスL=28	ビスキャップセット	ツノ付可動棚受セット
	6本	4本	10セット ビスキャップ(ブラック) ワッシャー	8セット 受本体×8個 ピン×8本

天板/底板/棚板セット

■ 天板 [上面図] [側面図]

■ 底板 [上面図] [側面図]

■ 棚板 ※2枚入です。 [上面図] [側面図]

[断面図]

部品	ジョイント金具シャフト	ビスL=28	ビスキャップセット	ピンボルト	化粧キャップ	施工・取扱説明書
	8本	5本	5セット ビスキャップ(ブラック) ワッシャー	8本	5柄あり 4個	各1式

引戸(開き勝手左右兼用)

[上面図]

[正面図] [側面図] [裏面図]

部品	取手	ネジL=40	下ガイド	ビスL=14	戸当たりシール
	1個	2本	1個	2本	1枚

引戸レールセット

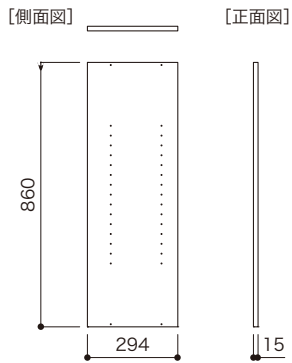
部品	サイズ	上レール	吊車	吊車(スモーター有)	スモーター受け金具セット	ビスL=14
	1枚引戸 W1550					
	2枚引戸 W2250	1本	1個	1個	2セット スモーター受け金具×1個 ビスL=16×2本	6本
		1本	2個	2個	4セット	8本

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

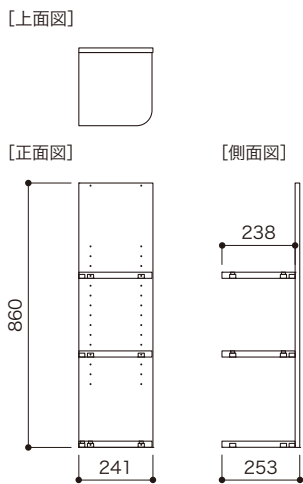
以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

エンドパネル

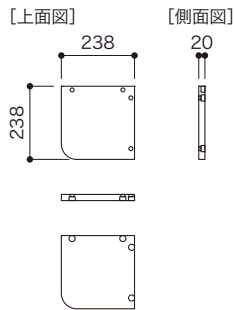


部品	ビスL=28	ビスキャップセット	ビスキャップ
	8本	8セット ビスキャップ(ブラック) ワッシャー	5柄あり 4個

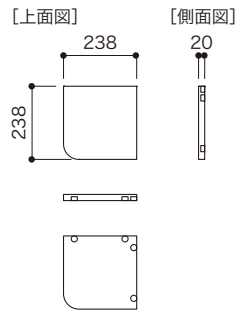
コーナーラック(左右兼用)



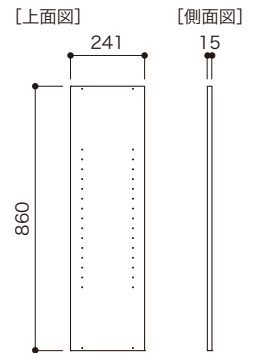
■ 底板



■ 棚板 ※2枚入です。



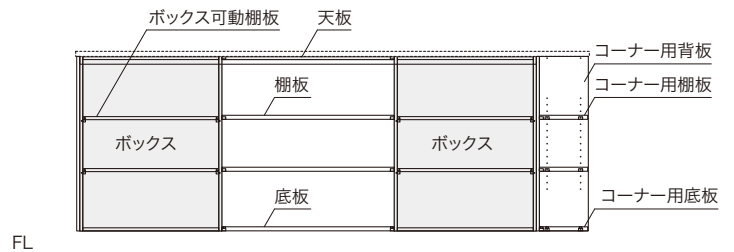
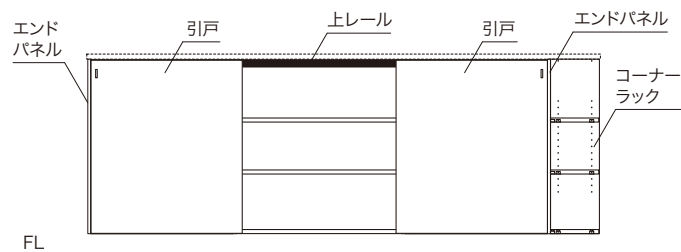
■ 背板



部品	ビスL=51	ビスキャップセット	ジョイント金具シャフト	化粧キャップ
	4本	4セット ビスキャップ(5柄あり) ワッシャー	12本	5柄あり 4個

各部名称

※下図は 2枚引戸タイプ です。1枚引戸タイプ も同様です。



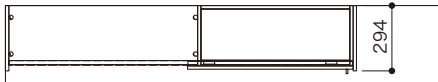
製品全体寸法

寸法単位:mm

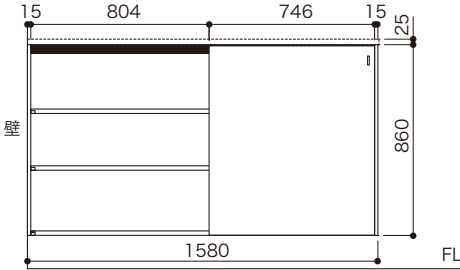
1枚引戸タイプ

※下図は右勝手です。
左勝手は左右対称になります。

[平面図]

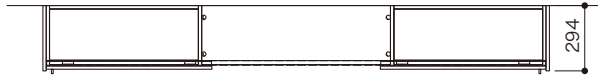


[正面図]

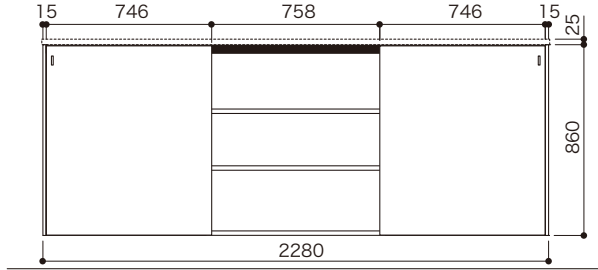


2枚引戸タイプ

[平面図]

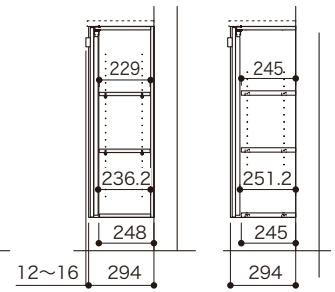


[正面図]



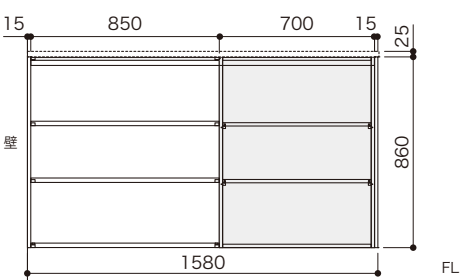
[断面図]

ボックス側 オープン側

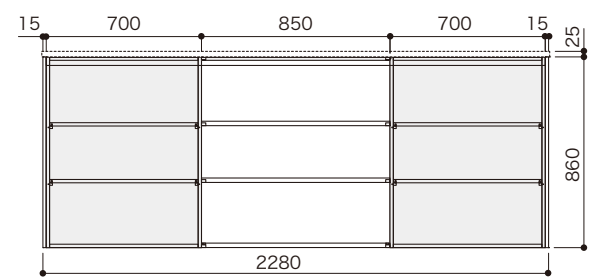


■ 引戸取り外し時

[正面図]

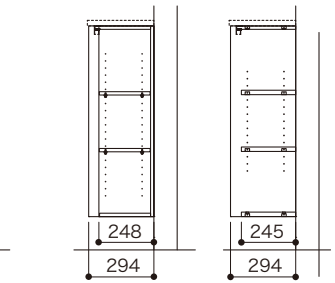


[正面図]



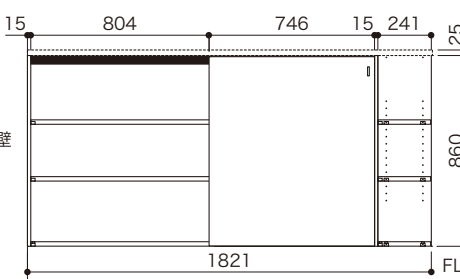
[断面図]

ボックス側 オープン側

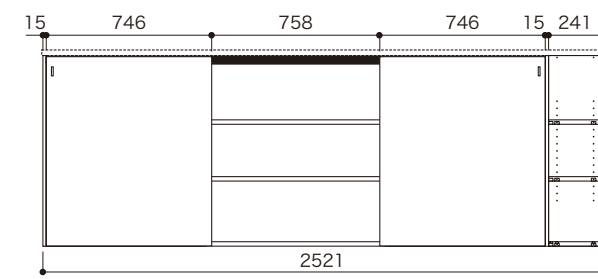


■ コーナーラック取り付け時

[正面図]

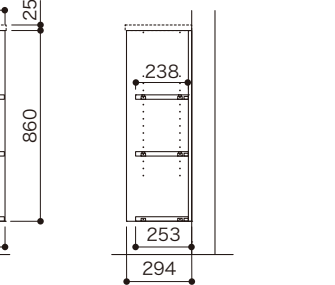


[正面図]



[断面図]

コーナーラック



躯体準備

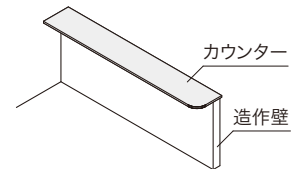
- 施工前に躯体の垂直・直角をご確認ください。
- 本製品は壁面に対してビスで固定するため、施工壁は補強桧木や12mm厚以上の合板(現場調達)で下地補強をしてください。

ご注意

製品本体は必ず壁面に固定してください。
壁面の下地処理が不十分の場合、転倒・脱落の原因となります。

キッチンカウンター下収納として施工する場合

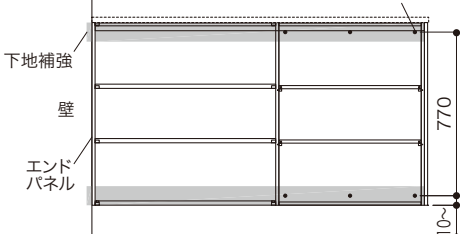
予めカウンターを取り付けた状態でも施工可能です。



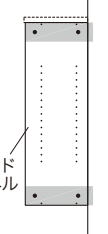
1枚引戸タイプ

※背壁・側壁に下地補強必須。
※下図は右勝手です。左勝手は左右対称になります。

[正面図]



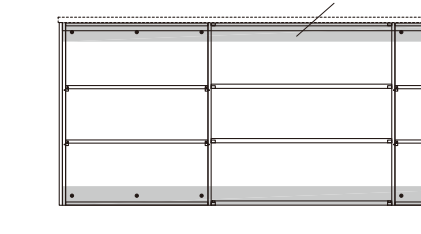
[断面図]



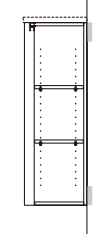
2枚引戸タイプ

※背壁に下地補強必須。

[正面図]



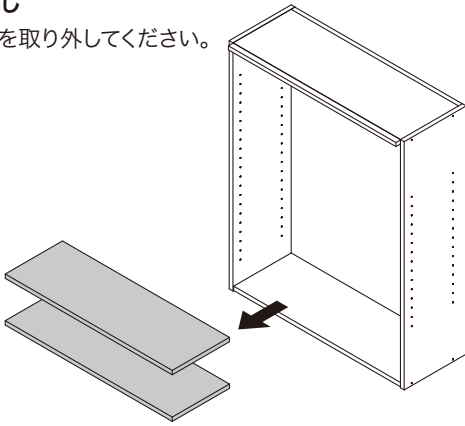
[断面図]



1 事前準備

1 可動棚板の取り外し

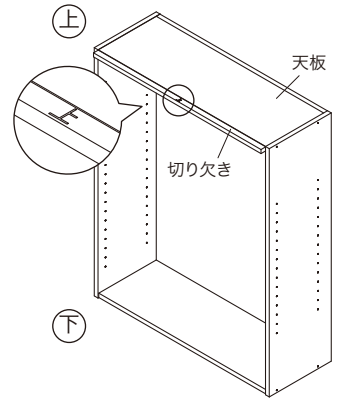
ボックスから可動棚板を取り外してください。



2 ボックスの上下確認

ご注意

ボックスの天板の切り欠き部分に「上」の押印がありますので上下間違わないようご注意ください。



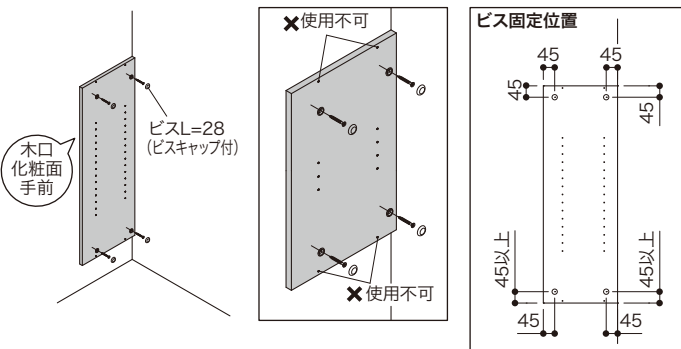
2 ボックス・エンドパネルの取り付け

1枚引戸タイプ

1 エンドパネルを側壁に固定

側壁にエンドパネルをビスL=28(ビスキャップ付)で固定します。

ビスL=28(ビスキャップ付)・4カ所(下穴なし)



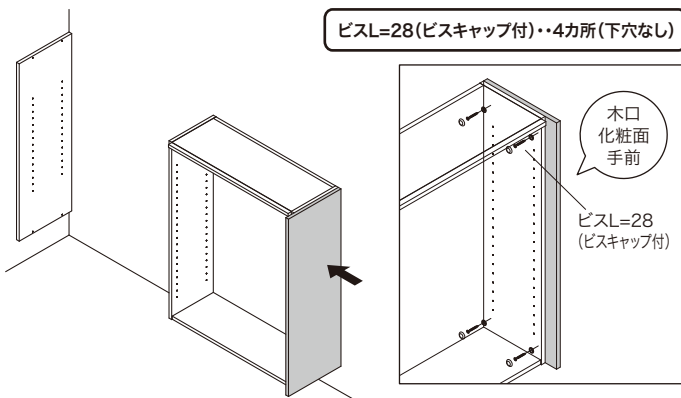
ご注意

エンドパネルにはビスL=28取り付け用のダボ穴がありません。ジョイント金具シャフト取り付け用のダボ穴(上図参照)を使用しないようご注意ください。

3 ボックスにエンドパネルを固定

エンドパネルをボックス内側からビスL=28(ビスキャップ付)で固定します。

ビスL=28(ビスキャップ付)・4カ所(下穴なし)



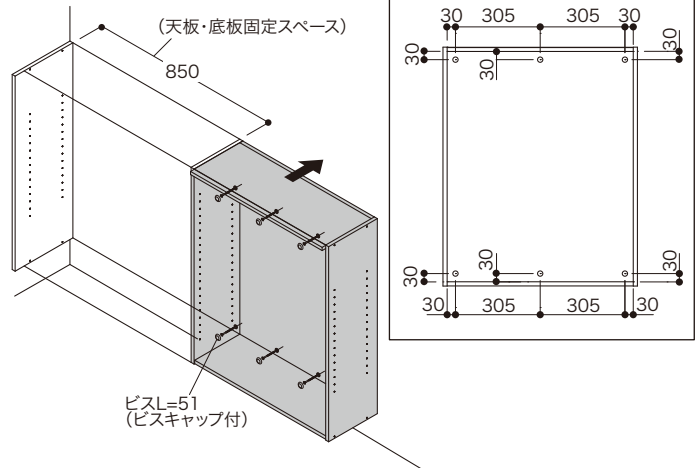
ご注意

- ボックスにはビスL=28取り付け用のダボ穴がありませんのでご注意ください。
- エンドパネルは片面のみダボ穴があります。コーナラックを取り付けない場合はダボ穴のない面を外側にし取り付けてください。

2 ボックスを背壁に固定

1で固定したエンドパネルとボックスとの内寸法が850mmになるようにボックスを背壁にビスL=51(ビスキャップ付)で固定します。

ビスL=51(ビスキャップ付)・6カ所(下穴なし)



1枚引戸タイプを2セット連結する場合

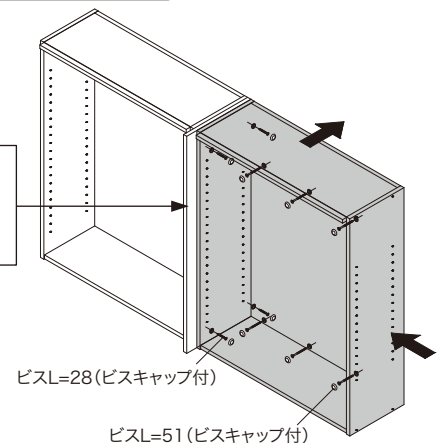
3でエンドパネルを固定したボックスの隣にボックスをビスL=28(ビスキャップ付)で固定します。その際に、ビスL=28同士が干渉しないようご注意ください。

さらに、ボックスを背壁にビスL=51(ビスキャップ付)で固定します。

ビスL=28(ビスキャップ付)・4カ所(下穴なし)

ビスL=51(ビスキャップ付)・6カ所(下穴なし)

ボックス間に1枚エンドパネルが必要です。エンドパネルは2枚同梱されていますが、1枚は不要になります。



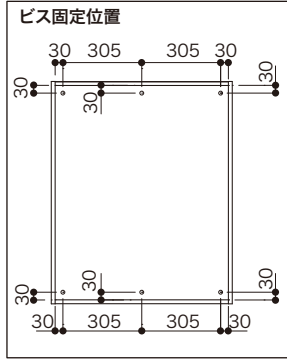
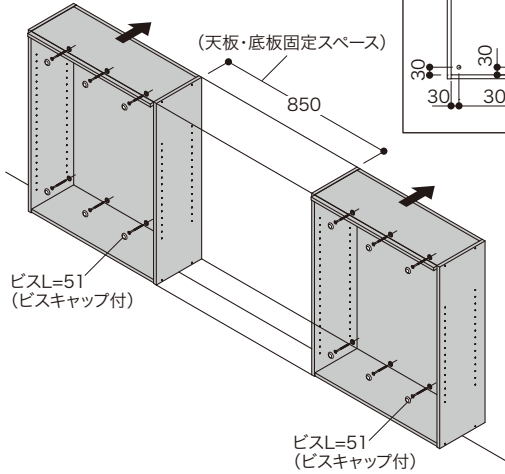
2枚引戸タイプ

※説明は両側オープンの施工手順です。片側オープン、両壁納めの場合は先にボックスにエンドパネルを取り付けてください。

1 ボックスを背壁に固定

ボックスとボックスとの内寸法が850mmになるように背壁にビスL=51(ビスキャップ付)で固定します。

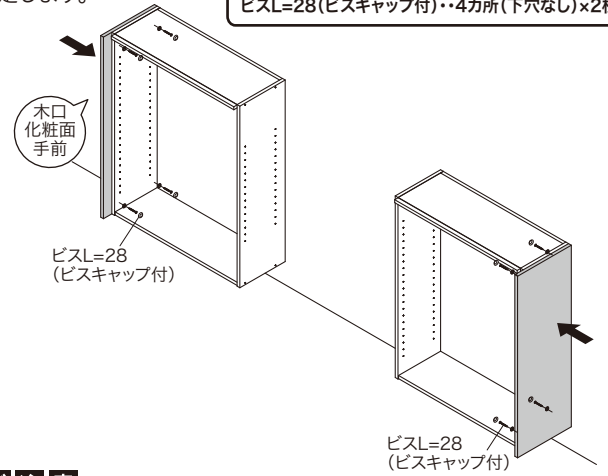
ビスL=51(ビスキャップ付)・・・6カ所(下穴なし)×2セット



2 ボックスにエンドパネルを固定

エンドパネルをボックス内側からビスL=28(ビスキャップ付)でそれぞれ固定します。

ビスL=28(ビスキャップ付)・・・4カ所(下穴なし)×2枚



ご注意

- ボックスにはビスL=28取り付け用のダボ穴がありませんのでご注意ください。
- エンドパネルは片面のみダボ穴があります。コーナラックを取り付けない場合はダボ穴のない面を外側にして取り付けてください。

3 天板・底板の取り付け

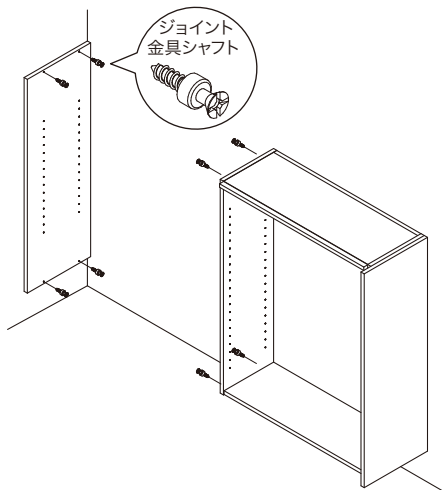
※図は1枚引戸タイプですが、2枚引戸タイプも同様の手順です。

1 ジョイント金具シャフトの取り付け

エンドパネル、またはボックス側板(外側)の最上下段の穴にジョイント金具シャフトを取り付けます。

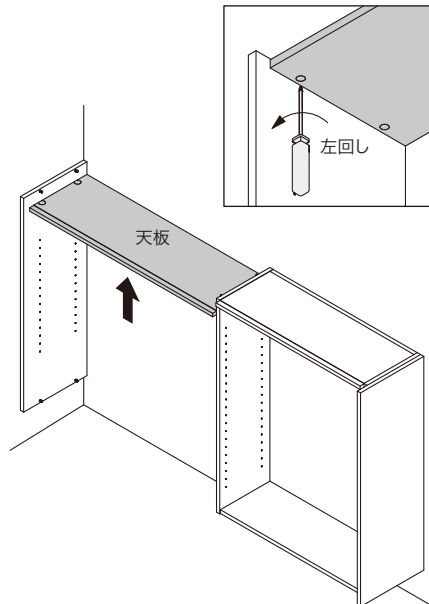
1枚引戸タイプ エンドパネル・・・4カ所(下穴あり)
ボックス側板・・・4カ所(下穴あり)

2枚引戸タイプ ボックス側板・・・4カ所(下穴あり)×2セット



2 天板の固定

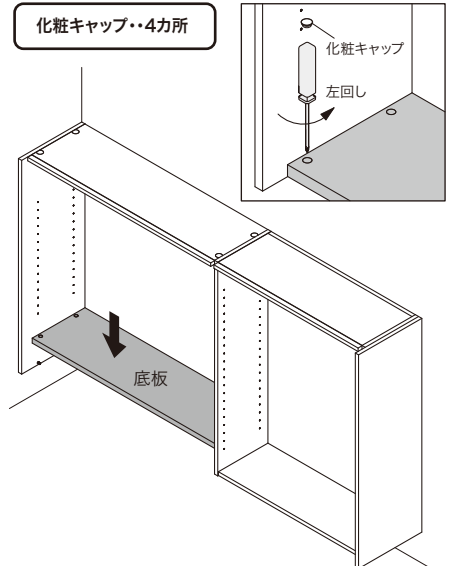
天板にジョイント金具シャフトを下側からはめ込み、下側からドライバーで4カ所を左回しで締め、固定します。



3 底板の固定

底板のジョイント金具を①で取り付けしたジョイント金具シャフトに上側からはめ込み、上側からドライバーで4カ所を左回しで締め、固定します。最後に化粧キャップを取り付けます。

化粧キャップ・・・4カ所



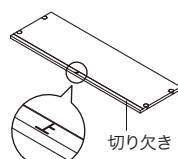
ご注意

天板の切り欠き部分に「上」の押印がありますので上下間違わないようご注意ください。

切り欠き

上

下



ご注意

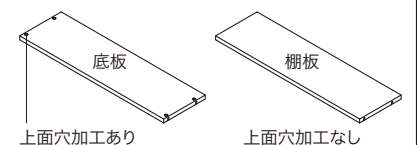
底板と棚板を間違えないよう、設置前にご確認ください。

底板

棚板

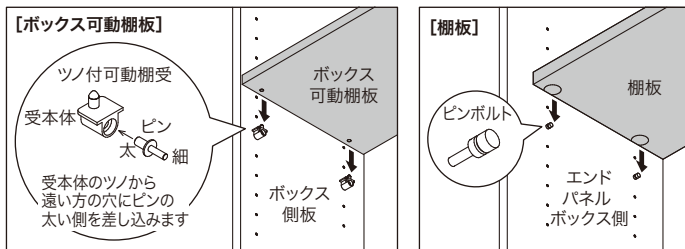
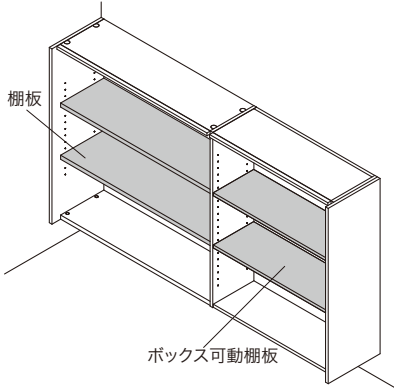
上面穴加工あり

上面穴加工なし



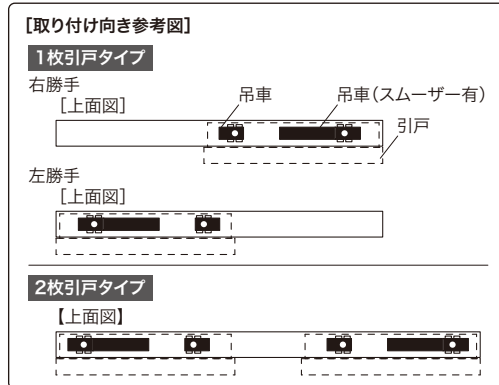
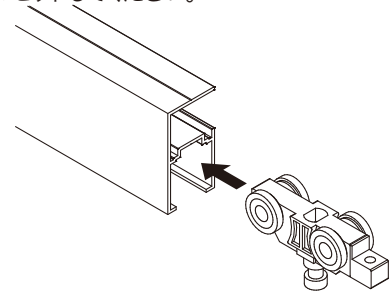
4 棚板の取り付け

ボックス可動棚板はツノ付可動棚受を、棚板はピンボルトを、取り付けたい高さのダボ穴に4カ所ずつ差し込み、棚板をはめ込みます。(2枚ずつ) ツノ付可動棚受は予めピンを差し込んでください。



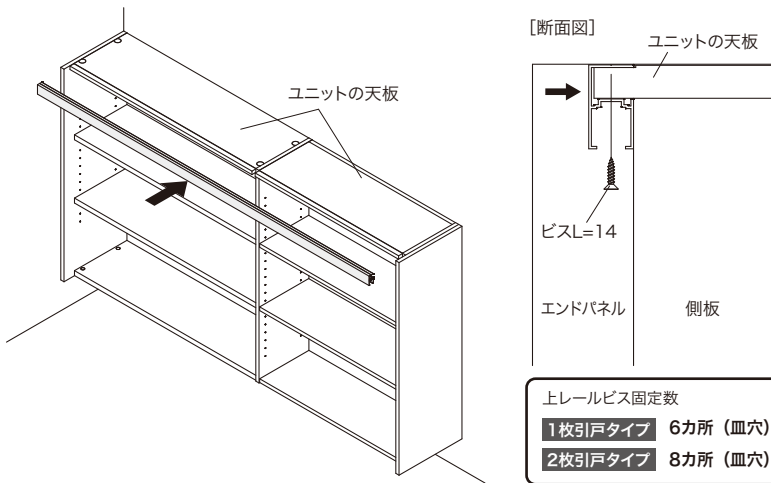
5 上レールへ部品の取り付け

上レールへ吊車、吊車(スモージー有)を[取り付け向き参考図]を参照して正しい向きにセットしてください。



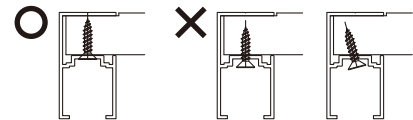
6 上レールの取り付け

上レールをユニットの天板に手前からはめ込み、ビスL=14で上レールビス穴から天板に向かって固定してください。



注意

- ビス頭が出ないように、ユニットの天板に対して垂直にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車と干渉する恐れがあります。
- 上レールは奥まで完全にはめ込んだ状態でビスで固定してください。

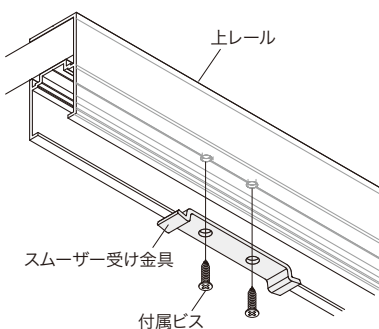


上レールビス固定数

1枚引戸タイプ	6カ所(皿穴)
2枚引戸タイプ	8カ所(皿穴)

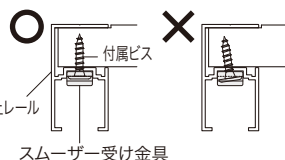
7 スモージー受け金具の取り付け

上レールに空いている下穴にスモージー受け金具を[取り付け向き参考図]を参照して正しく取り付けてください。取り付け後、吊車(スモージー有)を動かし、スモージーが正しく作動しているか確認してください。

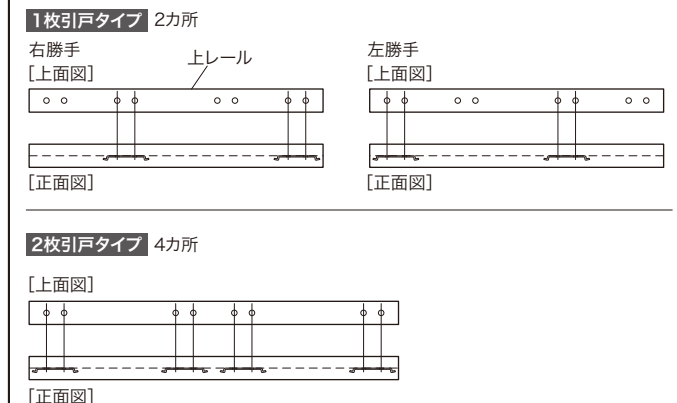


注意

直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車(スモージー有)と干渉するおそれがあります。

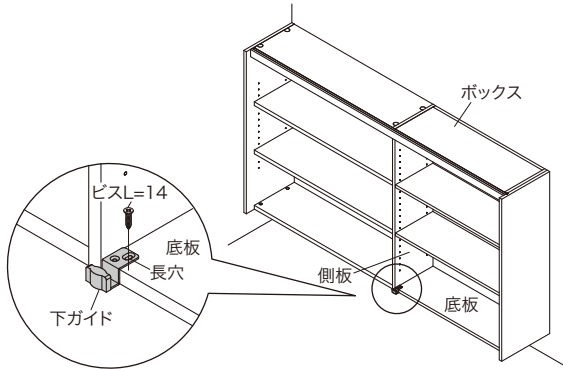


取り付け向き参考図



8 下ガイドの仮固定

ボックスの底板、またオープンシェルフ側の側板に沿わせるようにして下ガイドを仮固定します。このとき長穴のみを使用し、ビスL=14のビス1本で下ガイドを仮固定してください。丸穴は最終固定の際に使用します。



下ガイド固定位置

1枚引戸タイプ 1カ所(下穴なし) **2枚引戸タイプ** 2カ所(下穴なし)

右勝手 左勝手

[上面図]

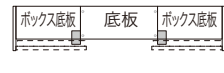
エンドパネル

[上面図]

[上面図]

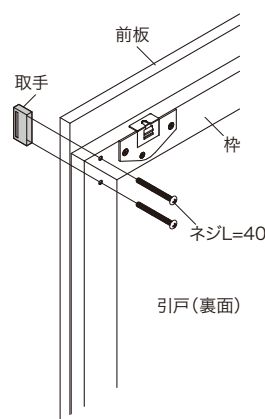


引戸



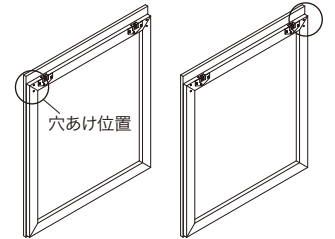
9 取手の取り付け

取手を取り付ける位置を確認し、引戸裏面から枠にあいている穴をガイドにして前板にφ4.5の貫通穴をあけてください。その後、ネジL=40で取手を取り付けてください。



穴あけ位置

1枚引戸タイプ ネジL=40・2本(1カ所)
右勝手 左勝手



2枚引戸タイプ 上記1枚引戸タイプの
右勝手・左勝手を各1枚
ネジL=40・4本(2カ所)

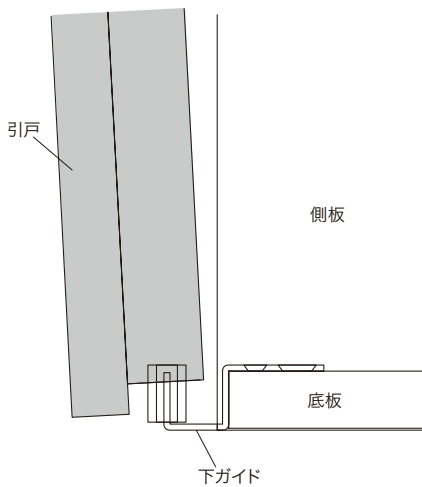
注意

穴あけの際は、前板側に当て木をしてください。当て木をせずに穴あけを行うと前板表面が膨れる場合があります。

10 引戸の取り付け

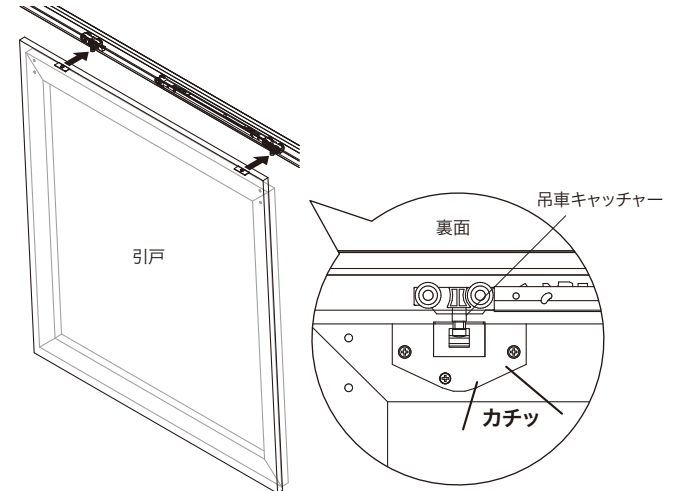
1 下部の取り付け

下ガイドにゆっくりと、引戸の溝をはめ込みます。引戸は重量があるため、下ガイドのみに荷重が掛からないようにしてください。



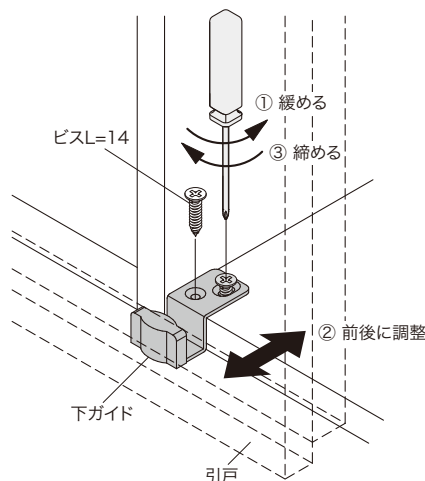
2 上部の取り付け

上レールの吊車を吊車キャッチャーにカチッと音がするまで確実にはめ込んでください。



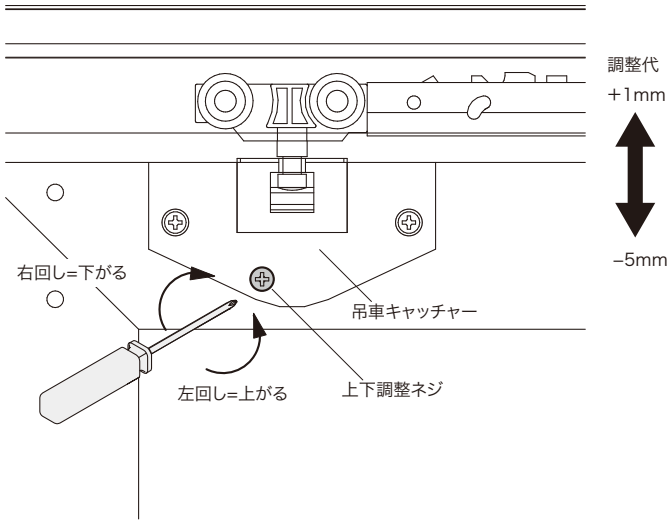
11 下ガイドの最終固定

8で仮固定したビスを少し緩め(①)、下ガイドの位置を前後に調整(②)して引戸の位置を調整します。調整できたら①で緩めたビスを再度固定(③)し、丸穴の方もビスL=14で固定してください。



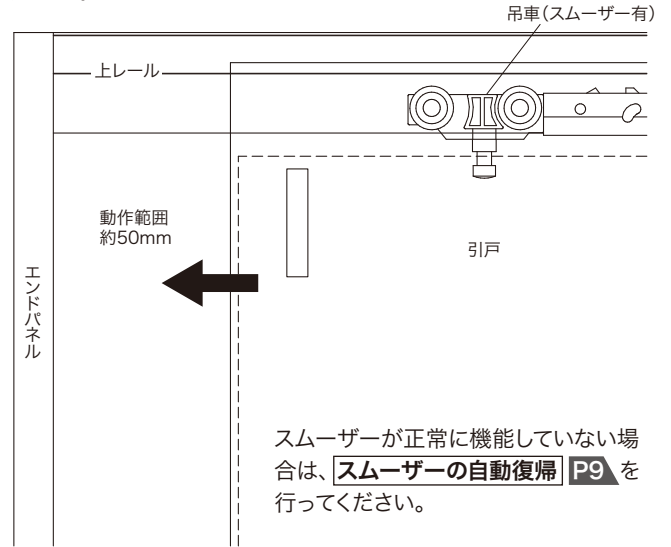
12 引戸の高さ調整

吊車キャッチャーの上下調整ネジを左右に回して引戸の高さ調整をします。



13 スムーザーの動作確認

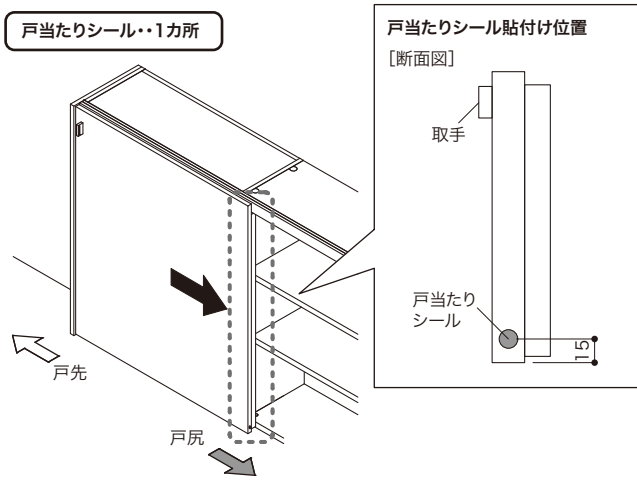
引戸をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。



14 戸当たりシールの貼付け

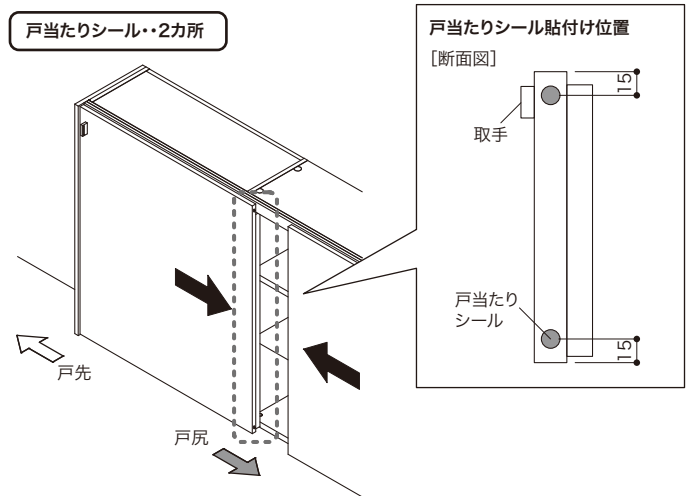
1枚引戸タイプ

引戸の戸尻面下部に戸当たりシールを1カ所貼り付けます。



2枚引戸タイプ

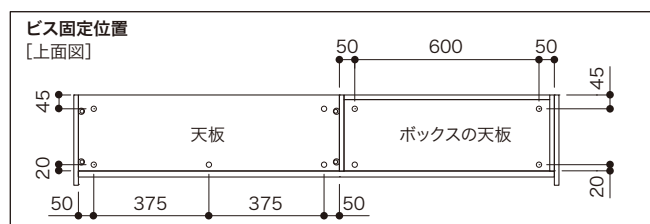
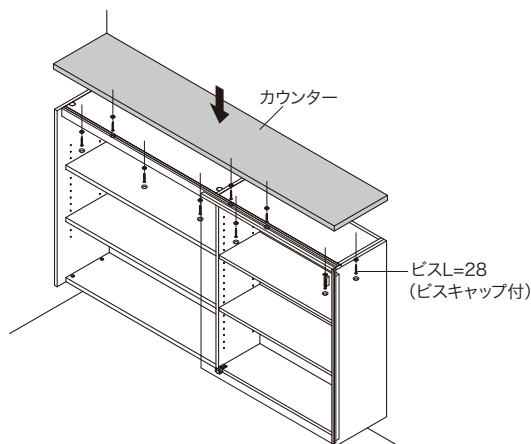
引戸のどちらか1枚の戸尻面に戸当たりシールを上下2カ所に貼り付けます。



15 カウンターの取り付け

ボックスの天板・天板それぞれ下側から、カウンターをビスL=28(ビスキャップ付)で固定します。

ビスL=28(ビスキャップ付)・・・ボックスの天板 4カ所(下穴なし)/天板 5カ所(下穴なし)



※図は1枚引戸タイプを表記していますが、2枚引戸タイプも同様に施工を行なってください。

スムーザーの自動復帰 ※スムーザーが正常に動作しない場合のみ

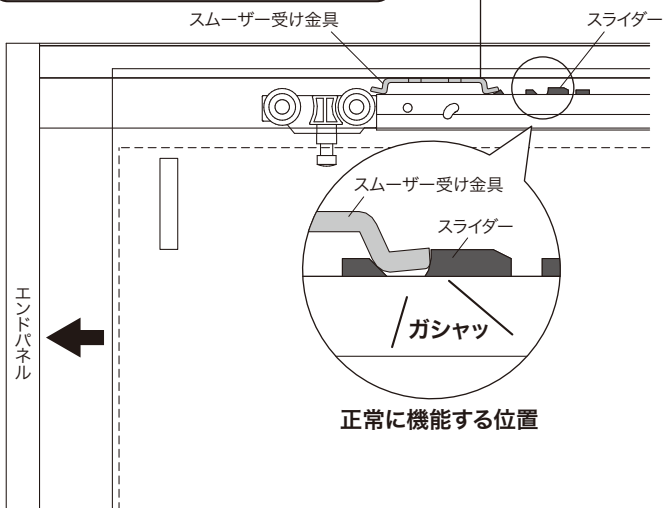
1 引戸を全閉

引戸を左右両側に動かし、全閉してください。左右どちらかが10mm程手前で一度引戸が止まりますので最後まで閉め切ってください。スライダーがスムーザー受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。

注意

必ずエンドパネルに当たるまでゆっくりと強く全閉してください。

正常に機能していない位置



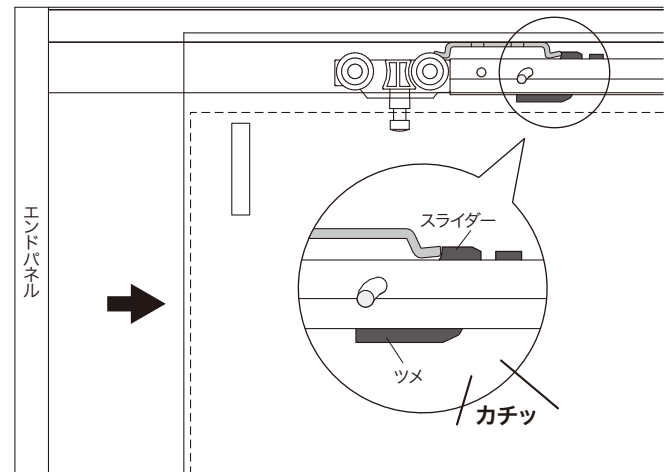
正常に機能する位置

2 引戸を開く

スムーザー受け金具が見えるまで引戸を開いてください。正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スムーザー有)下側にツメが出てきます。

注意

開閉はゆっくりと行ない、スムーザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



3 スムーザー自動復帰の確認

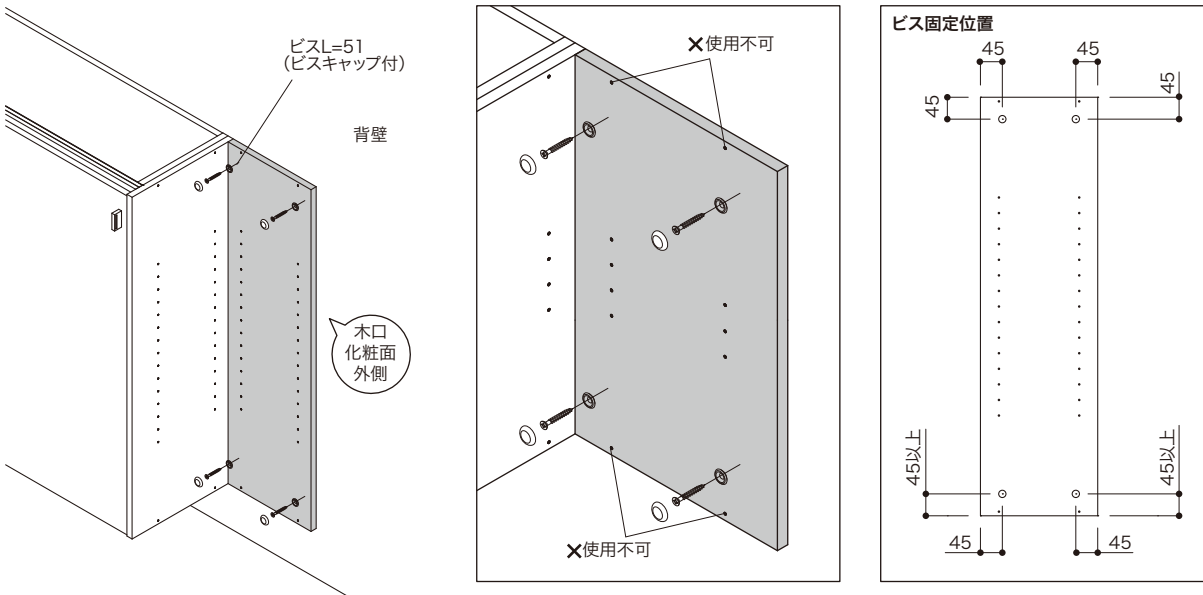
引戸をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。(P8 13 参照) スムーザーが正常に動作するまで、上記 1・2 を繰り返してください。

16 コーナーラックの取り付け(コーナーラックを取り付ける場合のみ)

1 コーナー用の背板固定

コーナー用背板を木口化粧面が外側になるようユニットのエンドパネルの横に据え付け、ビスL=51(ビスキャップ付)で背壁に固定します。

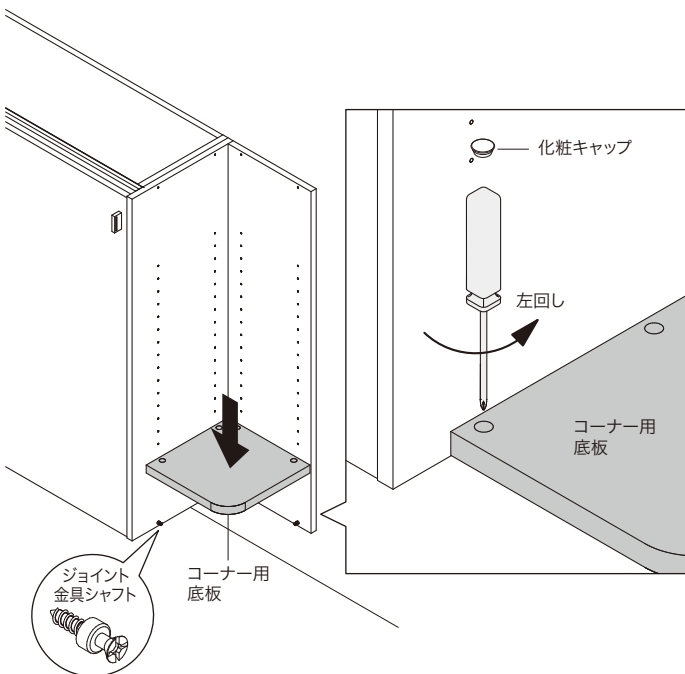
ビスL=51(ビスキャップ付)・・・4カ所(下穴なし)



2 コーナー用底板の取り付け

エンドパネル、コーナー用背板の最下段の下穴4カ所にジョイント金具シャフトを取り付け、コーナー用底板を上からはめ込み、上側からドライバーで4カ所を左回しで締めて固定します。最後に化粧キャップを取り付けます。

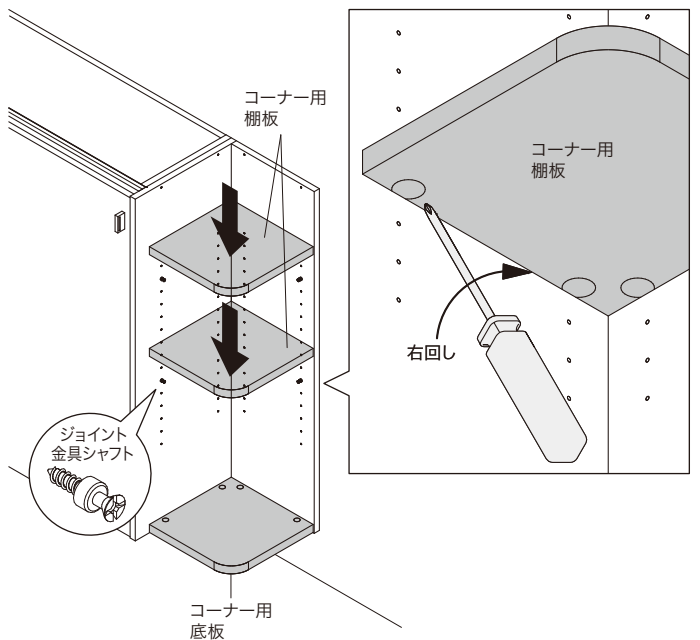
ジョイント金具シャフト・・・4カ所(下穴あり)/化粧キャップ・・・4カ所



3 コーナー用棚板の取り付け

ジョイント金具シャフトを取り付けた高さのダボ穴に取り付け、コーナー用棚板を上からはめ込み、下側からドライバーで4カ所を右回しで締めて固定します。

ジョイント金具シャフト・・・4カ所(下穴あり)×2枚



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

-構成材料-

製品名: インテリアスリム収納
インディニ4
製造者名称: 南海プライウッド(株)
発散区分: F☆☆☆☆
住宅部品表示ガイドラインによる
ロット番号: 製品梱包に記載

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆

○構成材料

部材・部位	材料名	表示区分	認定・ 登録種類	認定・ 登録番号	認定登録機関
引戸	両面オレフィン化粧MDF	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002865	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
耐水カウンター	塗装集成材	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002751	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。
問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業
グループ
首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第3チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業
グループ
近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業
グループ
北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業
グループ
特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第3チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669